

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-17	小学校	道 徳	道 徳	1 年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	道徳 106 道徳 107	しょうがくどうとく いきる ちから 1 しょうがくどうとく いきる ちから 1	1 1	1 1

## 1. 編修の基本方針

— 道徳科の時間を通して、子どもたちに「よりよく生きる力」を育みたい —

みずから心をひらき、考え、そして行動する

子どもたちの真の生きる力を育みたい

そのことが、ともによりよく生きていく喜びにつながるように……

私たちはこの教科書が、そのたすけとなることを心から願って編修しました。

本教科書は、教育基本法第2条に示す教育の目標を実現するため、次のような基本方針で編修しました。

基本方針

1

**みずから考えたくなる！**

児童の主体的な学びをサポートします



基本方針

2

**授業に躍動感を！**

豊かな対話と学び合いのある道徳科の時間にします



基本方針

3

**社会に根ざした道徳教育を！**

いま・これからの社会的課題にしっかり対応し、深い学びを提供します

## 1 読み取りやすく興味を引く教材・紙面

## (1) 感動・共感を呼ぶ教材の選定

物語からドキュメンタリーまで多様な教材をそろえています。感動とともに児童の経験を踏まえた思考を引き出すようにしました。

## (2) 見やすく、親しみやすい大きな紙面

大きな判型（A B判）を採用し、大きなイラストや写真で、児童の興味・関心を惹きつけるようにしました。

## (3) 学習をガイドするキャラクター

親しみやすいキャラクターが活躍して、児童にとって内容を身近に捉えやすくなるよう工夫しました。



りさ



なおや



あかね



はるひと



ココロウ



(p.42 ~ 43)



(p.86 ~ 87)

## 2 学びに見通しの持てる構成 —学習の意義や全体を見通した例示—

## (1) ていねいでわかりやすいオリエンテーションページ

巻頭にオリエンテーションのページを設け、道徳科の意義や学び方などを、児童の発達の段階に応じてわかりやすく示しました。特に入門期であることに鑑み、イラストと写真を中心に構成しました。



(p. ③ ~ 1)

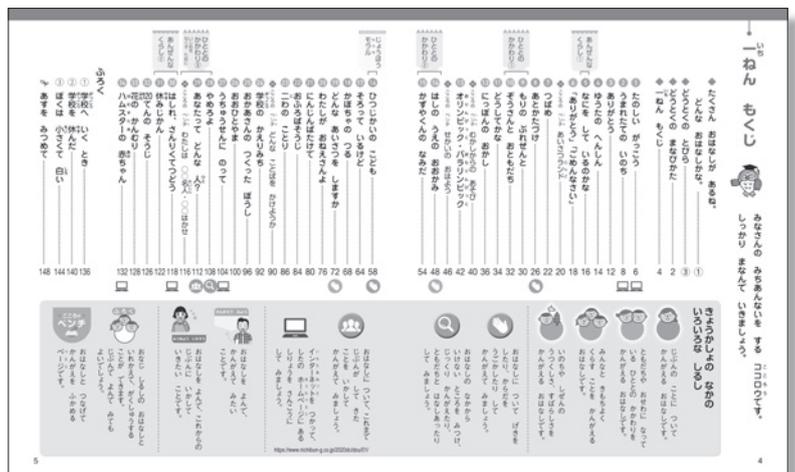


(p.2 ~ 3)

## (2) 教材配列と見やすいもくじ

重要なテーマである「いじめの防止」について複数の教材を1つのまとまり（ユニット）とすることで、学級の状況に応じて、学習を集中的に展開できるようにしました。

また、もくじでは、「安全」「情報モラル」などのテーマについても教材名の上の欄にそれぞれ提示し、1年間の学習の全体像、系統性が一目でわかるよう工夫しました。



(p.4 ~ 5)

**1 考えを引き出し、議論を活発にするために** —豊かな思考や議論を促す紙面要素—

児童が取り組みやすく、また教師が指導・評価しやすくなるように、紙面要素を適切に配置しました。児童が教材内容を素早く理解できるので、授業の中に思考や議論のための時間を作りやすくなります。

**5 考えてみよう**

教材のねらいに迫る発問例を児童が自発的に問いかける形で示しました。

**6 見つめよう 生かそう**

学習を通して考えたこと、わかったことを確かめたり、深く心に刻んだり、未来への思いや課題について考えたりするための発問例を示しました。



(p.76 ~ 79)

**1 主題名**

ねらいに対応した「主題」を端的に表しました。

**2 導入の発問例**

本時の導入に役立つ発問例を示しました。

**3 あらすじ**

児童の教材に対する理解を助けるために設定しました。

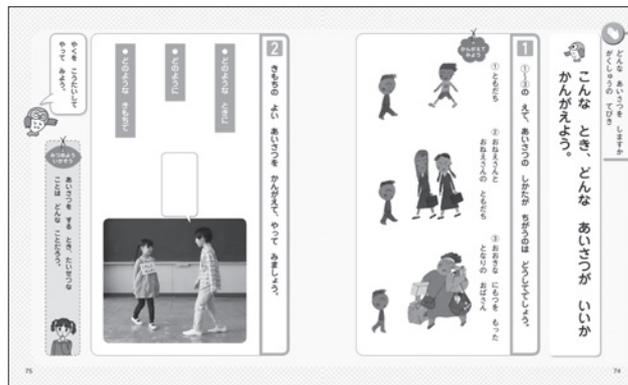
**4 主な登場人物**

教材に登場する主な登場人物を示して、児童が親しみを持てるようにしました。

**2 学習の手引き** —主体的、対話的で深い学び—

「問題解決的な学習」や「体験的な学習」の手法を用いるのに適した教材、および「多様な実践活動を生かす学習」に対応した教材の後ろには、児童の学びと教師の指導の参考例として「学習の手引き」を付けています。これにより、主体的、対話的で深い学びが展開できるとともに、特別活動等における多様な実践活動を生かした充実した学習ができるように工夫しました。

問題解決的な学習	やめろよ	p.108~111
体験的な学習	あとかたづけ はしの うえの おおかみ ひつじかいの こども どんな あいさつを しますか	p.26~29 p.48~53 p.58~63 p.72~75
多様な実践活動を生かす学習	あなたって どんな 人?	p.112~115



(p.74 ~ 75)

**3 学習や指導を充実させるために** —多面的、多角的な見方・考え方で、広げ、深め、心に刻む—

(1) コラム (心のベンチ)

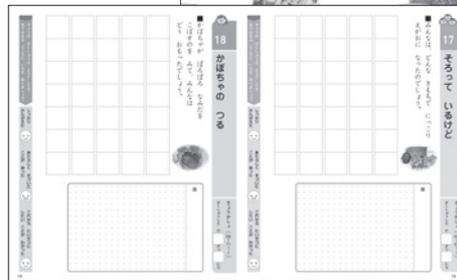
コラム「心のベンチ」を適宜配置し、道徳的価値について、多面的、多角的な見方、考え方によってより広く深く、考えられるようにしました。道徳科以外の教育活動とも関連付けています。

(2) 道徳ノート (別冊)

別冊の「道徳ノート」を付けました。道徳科の時間における児童の道徳性の成長の様子や学習状況を継続的に把握でき、指導や評価の参考にもなります。また、児童自らの成長の記録となり、保護者との連携も図れるようにしました。

新たに自由に書き込める欄を設けたので、児童が活用しやすくなりました。地域題材や学級状況に応じた指導にも対応できます。

(p.40 ~ 41)



(ノート p.18 ~ 19)

## 1 現代的・社会的課題への対応

下記の現代的・社会的な課題を重視して編修しました。

〔 〕はユニット

重点化した課題への対応

重点課題	道徳科の内容項目例	教材例
いじめの防止	善悪の判断, 自律, 自由と責任 個性の伸長 親切, 思いやり 友情, 信頼 公正, 公平, 社会正義	・もりの ぶれぜんと ・そうさんと おともだち ・はしの うえの おおかみ ・かずやくんの なみだ ・やめるよ ・あなたって どんな 人? ・ぼくは 小さくて 白い
安全の確保 (防災, 防犯, 交通)	善悪の判断, 自律, 自由と責任 節度, 節制 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	・なにを して いるのかな ・はしれ, さんりくてつどう ・休みじかん
情報モラル	正直, 誠実	・ひつじかいの こども
社会の持続可能な 発展	友情, 信頼 規則の尊重	・二わの ことり ・おおひとやま

その他の現代的・社会的な課題への対応

①「人権・福祉」について考える教材	・二わの ことり
②「食育・健康」について考える教材	・ゆうたの へんしん
③「キャリア教育」について考える教材	・120てんの そうじ

## 2 特別支援教育への配慮 —すべての児童が等しく学べるように配慮

すべての児童が等しく学べるように、カラーバリアフリー、ユニバーサルデザインなどを採用し、特別支援教育の観点から次のように配慮しました。

- 1) 文字の大きさと書体、罫線や囲みの使い方、色使いなど、レイアウトを工夫し、判読しやすくしました。
- 2) 当該学年以上の漢字には、教材ごとにすべて振り仮名をつけました。

## 3 保護者への配慮 —家庭、地域との連携

「道徳科」がどのような教科でどのような学習をするのか、またこの教科書でどのようなことを学ぶのかをオリエンテーションのページなどで保護者にメッセージ性をもって伝えるとともに、道徳ノートの活用により、学校・家庭・地域の連携を図る手立てを提供しています。

## 4 系統性への配慮 —保・幼、小、中の連携

発達の段階を考慮し、保・幼、小連携（低学年）や、小、中連携（高学年）についても、教材の選定や表現方法、レイアウトにおいて工夫を加えました。

## 2. 対照表

教育基本法第2条各号に示す教育の目標と図書の構成・内容との対照について、各教材とその該当箇所を表示しました。

基本法第2条 (教育の目標)	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	オリエンテーション	教材の挿絵を見ることを通して、道徳科の学習への期待を膨らませよう工夫しました。	p.③～3
	正直、誠実 16 ひつじかいの こども	うそをつく人の言うことは信用できないと思うようになることに気づき、正直にしようとする心情を育てようとしてしました。	p.58～63
	節度、節制 4 ゆうたの へんしん ほか 8, 18, 31	規則正しい生活をしたときと、そうでないときを比べることを通して、規則正しい生活をしようとする判断力を育てようとしてしました。	p.14～15 ほか
	希望と勇気、努力と強い意志 22 おふるばそうじ	困難なことでもくじけずにやり遂げることの喜びに気づき、自分のやるべき仕事はしっかり行おうとする態度を養おうとしてしました。	p.84～85
	感動、畏敬の念 27 うちゅうせんに のって	私たちの住む世界にある美しいもののすばらしさに気づき、すがすがしい心をもたせようとしてしました。	p.104～107
第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	善悪の判断、自律、自由と責任 5 なにをしているのかな ほか 21, 28	絵の中から「よいこと」と「悪いこと」を見つけ出し、その理由を考えることを通して、善悪を判断する力を養おうとしてしました。	p.16～17 ほか
	個性の伸長 29 あなたってどんな人? ほか ③	友達同士で互いのよさを見つけ合い、認め合うことを通して、自分の特徴に気づき、大切にしようとする心情を育てようとしてしました。	p.112～115 ほか
	勤労、公共の精神 32 120てんの そうじ	働くことがひとの役に立ったり、自分の喜びにつながったりすることに気づき、進んで働こうとする心情を育てようとしてしました。	p.126～127
	家族愛、家庭生活の充実 25 おかあさんの つくった ぼうし	お母さんが作ってくれた帽子に対する愛着を通して、家族を敬愛し、家族のために役立とうとする心情を育てようとしてしました。	p.96～99
第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	親切、思いやり 14 はしの うえの おおかみ ほか 24, 33	意地悪をするより、親切にしたり優しくしたりするほうがいい気持ちになることに気づき、親切にしようとする心情を育てようとしてしました。	p.48～53 ほか
	感謝 3 ありがとう	自分が日頃多くの人にお世話になっていることに気づき、感謝しようとする心情を育てようとしてしました。	p.12～13
	礼儀 6 「ありがとう」「ごめんなさい」 ほか 19	「ありがとう」や「ごめんなさい」の言葉を言ったときと言わないときを比べて、時と場に応じた言葉遣いをしようとする態度を養おうとしてしました。	p.18～19 ほか
	友情、信頼 10 ぞうさんと おともだち ほか 23	みんなが友達のことを少しずつ思いやることで、全員が幸せな気持ちになることに気づき、友達と仲よくしようとする態度を養おうとしてしました。	p.32～33 ほか
	規則の尊重 26 おおひとやま ほか 11, 17	小さなルール違反の積み重ねが大変な結果になることに気づき、きまりを守ろうとする態度を養おうとしてしました。	p.100～103 ほか
	公正、公平、社会正義 9 もりの ぶれぜんと ほか 15	友達だからといって特別扱いをしないおおかみを通して、誰に対しても同じように接しようとする態度を養おうとしてしました。	p.30～31 ほか
	よりよい学校生活、集団生活の充実 1 たのしい がっこう ほか ②	これから始まる学校生活について知ったり、期待したりすることで、学校は楽しい所だという思いを膨らませようとしてしました。	p.6～7 ほか
第4号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	生命の尊さ 2 うまれたての いのち ほか 20, 34	小さな命のもつ力強さ、美しさ、か弱さを通して、すべての命を大切にしようとする心情を育てようとしてしました。	p.8～11 ほか
	自然愛護 7 つばめ	町の中でも懸命に生きようとするつばめを見て、か弱さと生命力を感じ取り、大切に守ろうとする心情を育てようとしてしました。	p.22～25
第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 12 につばんの おかし ほか 30	和菓子の美しさ、季節感などを通して、我が国の伝統や文化のすばらしさを再認識し、大切にしようとする心情を育てようとしてしました。	p.36～39 ほか
	国際理解、国際親善 13 オリンピック・パラリンピック ほか ①	オリンピックやパラリンピックに込められた、世界中の人々の幸せと平和を願うことの大切さに気づき、他国の人々に親しもうとする態度を養おうとしてしました。	p.42～45 ほか

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-17	小学校	道 徳	道 徳	1 年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	道徳 106 107	しょうがくどうとく しょうがくどうとく	いきる ちから いきる ちから	1 1 どうとくノート

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### 「よりよく生きる力」を育むために

一人ひとりの児童たちと、そこに寄り添う教師とが作り上げていく教科「特別の教科 道徳」。その実践を通して「よりよく生きる力」を育むことをサポートする教科書として、「学習指導要領」の主旨を踏まえ、特に次の点に意を用いて編修しました。

#### 特色 1

#### 授業の流れが見える

— 質の高い授業を保証する工夫として —

#### 1 保・幼、小の連携

第1学年では、特に、小学校入学間もない入門期の児童が円滑に道徳科の授業に取り組めるよう、巻頭の目次をかきた風にイラストや写真と教材番号のみで表し、教材の内容に興味・関心を高められるようにしました。また、オリエンテーションページにおいても、イラストや写真を中心にした構成とし、児童が楽しみながら道徳科の学習の意義や学び方について理解できるよう工夫しています。



(p. ①～②)



(p. ③～1)

「どうとくノート」の目次も視覚的な構成とし、1学期に配置した教材のノートは、学年の発達段階に考慮するとともに、児童の負担の少ない紙面構成としています。



(ノート表紙裏)



(ノート p.2～3)

また、**教材配列**についても同様に配慮し、1学期に配置した教材には長い文章をほとんど用いず、イラストや写真を見て道徳の授業ができるようにしました。児童の負担をできる限り軽くし、生活の実態から道徳科の学習へと誘えるよう工夫しています。

また、この時期に必要な、学校生活への適応や、基本的な生活習慣や良好な人間関係の確立、生命の尊さについて考えることができるよう、関連する内容項目を重点的に配列しています。



## 2 発問例によって授業の流れが見える ー質の高い授業を保証する工夫としてー

教材に応じて、授業の進行に沿った3つの発問の例を全教材に示しています。

これらの発問例によって、教師にも児童にも授業の流れが見え、見通しをもって豊かな学習活動をおこなうことができます。

**導入の発問例**  
教材に入り込むきっかけとなる発問例です。

**考えてみよう**  
教材のねらいに迫るヒントとなる発問例です。

**見つめよう**  
学習を通して学んだこと、わかったことを自発的に確かめ、活かしていくための発問例です。

**生かさそう**  
学んだことを活かすための発問例です。

17...そろって いるけど

わたしたちのがつきゅうには、ボールが二こあります。やすみくんには、みんなドッジボールを、あそんでいます。かこの中には、いつも二こそろっています。きょうしつのは、あかしの、スリッパも、いつも、きちんとそろっています。どこか、ある日、ひるやすみに、トイレにいくと、スリッパが、そろって、いませんでした。

五じかんめがおわったとき、六ねんせいのおにいさんが、「うんどうじょうに おちて いたよ」といって、ボールを とどけて くれました。いつも、きちんと そろって いるのに、きょうは、なんで、こんな、ことに、なるのかなど、ふしぎに、おもいました。「きょうは、けんじくんが、おやすみだからだ」と、だれかが、いきました。「けんじくんが、かたつけて、くれたよ」と、「けんじくんが、トイレの、スリッパを、そろえて、いるのを、みたよ」と、みんなは、はっと、して、かおを

(p.64~67)

## 3 「学習の手引き」によって授業の流れが見える

問題解決的な学習の手法などを用いることで、主体的・対話的な学習による「深い学び」が実現すると考えられる教材には、「学習の手引き」のページを用意しています。

このページを参考にさせていただくことで、質の高い、多様な学習方法の具体例がわかり、問題解決的な学習、体験的な学習、多様な実践活動を生かした学習に児童が主体的に取り組むことができるとともに、対話を通じた多様な見方や考え方にふれるなどして、深い学びを実現することができます。

**1 関連教材やコラムとのユニット構成** —毎学期に配置—

「いじめの防止」は、重要なテーマとして、複数教材や関連するコラムをユニットとしてまとめて配列しています。また、毎学期にユニットを1つずつ配置して、重点的に扱えるようにしています。

ユニットには、いじめを直接的に扱った教材だけでなく、自己有用感や他者理解など、「いじめ」の克服につながる教材を組み合わせ、知的理解を補強するコラムとも関連させつつ、集中的に取り組めるようにし、児童自身にいじめを「しない」「させない」「見過ごさない」力をつけさせようとしてきました。

**2 コラムを用いて**

—多面的・多角的に考える—

教材に関連させて配置したコラム「心のペンチ」を手がかりにして、児童は「いじめ防止」について多面的・多角的に考えることができます。



(p.116 ~ 117)

**1 「道徳ノート」のねらいと効果** —各学年に1冊、各教材に1ページ—

「よりよく生きる力」を育むために、児童が「自分の成長」を実感できることを意図して、「道徳ノート」を付けました。このノートの活用によって、児童自身が自らを振り返り、自身の変容や成長を確認することができます。

また、1教材1ページで、指導の実践に即した構成とし、自由に書き込める欄を設けるなど、使いやすさに意を用いました。

「道徳ノート」を活用することで、次のような効果が期待できます。

◆児童にとって

- ◇自分自身の成長の様子を記録し、振り返ることができます。
- ◇児童が表現する場を保証することで、言語活動の充実が図れます。
- ◇自由書き込み欄

- 児童の思いを各々の表現方法や分量で書き表せます。
- 友達の意見を書き込むことにより、多面的・多角的な見方や考え方を育成することができます。
- 記録だけでなく、メモとして議論に備えることができます。

◇教科書に即した共通のノートを使うことで、「考え、議論する」土台を学級で共有できます。

◆教師にとって

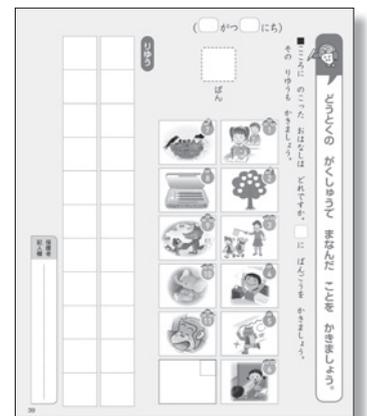
- ◇児童の道徳性の成長の様子が把握できます。
- ◇1年間を通して学習状況を継続的に把握できます。→中長期的な大くりの「評価」にも活用することができます。

◆保護者にとって

- ◇保護者記入欄の活用により、児童の成長へ関わるすることができます。
- ◇家庭と学校間の連携を円滑にします。



(ノート p.15)



(ノート p.39)

〔本教科書の特色表〕

基本事項	準 抛 性	教育基本法の遵守	・教育基本法第2条の教育の目標を達成するため、特に次の3点を柱に編修しています。①み ずから考えたい！、②授業に躍動感を！、③社会に根ざした道徳教育を！	
		学習指導要領の遵守	・学習指導要領に示された道徳科の目標の実現をめざし、扱うべき内容項目はすべて扱い、重 点事項や配慮事項を重視しています。	
		公 正 性	・教材の選定、記述に当たっては、内容が一方的、断定的な見解に偏っていないか、広く受容 されているかを十分吟味・検証しています。	
		正 確 性	・検定基準などに照らして的確な内容であることを検証しています。	
内容・系統		発達の段階への配慮	・児童の発達の段階を考慮した内容とし、1年間や6年間を通した系統性に配慮しました。ま た、「保・幼、小、中」の連携にも配慮しました。	
		配 列 ・ 分 量	・オリエンテーション、本編教材、付録で構成し、適宜関連コラムを配置しています。 ・各学年の配当時間を実施する上で十分な教材数を配置しています。 ・他教科の学習や様々な活動との関係を考慮して配列しました。 ・学習計画や見通しが立てやすいよう一覧性のある目次としました。	
		学 習 意 欲 ・ 主 体 的 な 学 習 態 度 の 育 成	・オリエンテーションのページに道徳学習の意義や授業の流れをわかりやすく示しているの で、学習意欲と主体的な学習態度の育成につながります。 ・児童に感動と共感を与え、興味・関心を高めるような多様な教材を用いました。 ・親しみやすいキャラクターの言葉が児童の学ぶ意識を高めます。	
		多 様 な 学 習 の 実 現 ( ア ク ティ ブ ラー ニ ン グ)	・オリエンテーションのページや自我関与を中心とした教材のほか、問題解決的な学習、体験 的な学習、多様な実践活動を生かした学習の教材を配置しました。 ・児童が多様な学習に対応できるよう、「学習の手引き」を問題解決的な学習、体験的な学習、 多様な実践活動を生かした学習のページに例示しました。	
	重 点 課 題		現 代 的 ・ 社 会 的 課 題 へ の 対 応	・人間尊重の精神と生命の尊重を基本に、「いじめの防止」「安全の確保(防災・防犯・交通安全)」「 情報モラル」「社会の持続的発展」などの現代的・社会的課題への対応を重視した教材を用 意しました。 ・特に「いじめの防止」に関しては、全学年で重要項目として扱い、各学年毎学期に関連教材 をユニット化して配置しました。
			伝 統 文 化 の 尊 重 と 国 際 理 解	・伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度の育成を重視するとともに他国の文化にも興味・ 関心を持たせ、国際理解・親善に関心を促す教材を用意しました。
			社 会 の 持 続 可 能 な 発 展	・環境、人権、平和など、社会の持続可能な発展に関わる問題についても、発達の段階に即し て道徳的な観点から取り扱いました。
		そ の 他 の 現 代 的 社 会 的 な 課 題	・健康、キャリア教育などの社会的課題についても取り扱っています。	
そ の 他		家 庭 学 習 へ の 配 慮	・「道徳ノート」(別冊)は家庭学習との連携も図れるようにしました。 ・道徳科の学習のねらいや学び方を保護者へもメッセージとして伝え、学校、家庭、地域の連 携を示唆しました。	
		地 域 教 材 の 活 用 ・ 開 発	・児童にとって特に身近に感じられる、地域の特色を生かした地域教材の活用、開発にも配慮 しました。	
		他 教 科 ・ 活 動 と の 関 連	・道徳教育の要としての特質に鑑み、各教材と道徳的内容で関連する他教科・活動を巻末に明 示し、各教科等と関連付けた効果的な指導ができるようにしました。 ・これにより、カリキュラムマネジメントの充実化に役立つようにしました。	
		特 別 支 援 教 育 へ の 配 慮	・すべての児童が等しく学べるよう、カラーバリアフリー、ユニバーサルデザインなどを採用 し、特別支援教育の観点に配慮しました。 ・拡大教科書を制作します。	
		デ ジ タル 教 材 の 活 用	・別途デジタル教材を提供する体制を整え、学習効果をより高められるよう配慮しました。	
		判 型	・A B判を採用し、写真やイラストを大きくして児童の興味・関心を引きやすくしました。	
		文 字 、 印 刷 、 製 本	・当該学年以上の配当漢字にはすべて振り仮名をつけました。 ・書体は、児童に読みやすいように開発した教科書体を使用しました。 ・本文用紙は軽量化した再生紙とし、表紙はコート紙で美感を考慮する予定です。 ・植物油を用いて印刷し、堅牢なあじろ綴じ製本で開きやすくしました。	

## 2. 対照表

### 第1学年

図書の構成				学習指導要領の内容項目		配当 時数	配当学期
番号	ページ	教材名	主題名				
1	6～7	1 たのしい がっこう	がっこうが たのしみだ	C	よりよい学校生活, 集団生活の充実	1	一学期 11時間
2	8～11	2 うまれたての いのち	かがやけ いのち	D	生命の尊さ	1	
3	12～13	3 ありがとう	おせわに なって いる ひと	B	感謝	1	
4	14～15	4 ゆうたの へんしん	きそくたしい せいかつ	A	節度, 節制	1	
5	16～17	5 なにを して いるのかな	よい ことと わるい こと	A	善悪の判断, 自律, 自由と責任	1	
6	18～19	6「ありがとう」「ごめんなさい」	きもちを つたえる	B	礼儀	1	
7	22～25	7 つばめ	いきものに やさしく	D	自然愛護	1	
8	26～29	8 あとかたづけ	きもちよい せいかつ	A	節度, 節制	1	
9	30～31	9 もりの ぶれぜんと	だれにでも おなじように	C	公正, 公平, 社会正義	1	
10	32～33	10 ぞうさんと おともだち	ともだちって いいね	B	友情, 信頼	1	
11	34～35	11 どうしてかな	きまりに ついて かんがえよう	C	規則の尊重	1	
12	36～39	12 にっぽんの おかし	にっぽんの よさ	C	伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	1	
13	42～45	13 オリンピック・パラリンピック	せかいの くから	C	国際理解, 国際親善	1	
14	48～53	14 はしの うえの おおかみ	しんせつは いい きもち	B	親切, 思いやり	1	
15	54～57	15 かずやくんの なみだ	だれとでも なかよく	C	公正, 公平, 社会正義	1	
16	58～63	16 ひつじかいの こども	うそばかり ついて いると	A	正直, 誠実	1	
17	64～67	17 そろって いるけど	みんなで つかう もの	C	規則の尊重	1	
18	68～71	18 かぼちゃの つる	わがままばかり して いると	A	節度, 節制	1	
19	72～75	19 どんな あいさつを しますか	たいせつな あいさつ	B	礼儀	1	
20	76～79	20 わたしが おねえさんよ	いのちって なあに	D	生命の尊さ	1	
21	80～83	21 にんじんばたけで	だめな ことは だめだよ	A	善悪の判断, 自律, 自由と責任	1	
22	84～85	22 おふるばそうじ	がんばる ところ	A	希望と勇気, 努力と強い意志	1	
23	86～89	23 二わの ことり	みんなと なかよく	B	友情, 信頼	1	
24	92～95	24 学校の かえりみち	しんせつに する こと	B	親切, 思いやり	1	後期 19時間
25	96～99	25 おかあさんの つくった ぼうし	だいすきな かぞく	C	家族愛, 家庭生活の充実	1	
26	100～103	26 おおひとやま	すこしぐらい	A	規則の尊重	1	
27	104～107	27 うちゅうせんに のって	うつくしい もの	D	感動, 畏敬の念	1	
28	108～111	28 やめろよ	ゆうきを 出して	A	善悪の判断, 自律, 自由と責任	1	
29	112～115	29 あなたって どんな 人?	じぶんの よさ	A	個性の伸長	1	
30	118～121	30 はしれ, さんりくてつどう	ふるさとの ために	C	伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	1	
31	122～125	31 休みじかん	あんぜんな 暮らし	A	節度, 節制	1	
32	126～127	32 120てんの そうじ	みんなの ために	C	勤労, 公共の精神	1	
33	128～131	33 花の かんむり	やさしい ところ	B	親切, 思いやり	1	
34	132～135	34 ハムスターの 赤ちゃん	どうぶつの いのち	D	生命の尊さ	1	
①	136～139	① 学校へ いく とき	せかいの 人と つながろう	C	国際理解, 国際親善	-	
②	140～143	② 学校を 休んだ	たのしい 学校	C	よりよい学校生活, 集団生活の充実	-	
③	144～147	③ ぼくは 小さくて 白い	じぶんの よい ところ	A	個性の伸長	-	
計						34	
ふろく						3	

#### [備考]

- ・表の「学習指導要領の内容項目とキーワード」は学習指導要領第3章第2の内容についてを表す。Aは「主として自分自身に関する事」、Bは「主として人との関わりに関する事」、Cは「主として集団や社会との関わりに関する事」、Dは「主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関する事」を示す。
- ・番号①②③は補充教材としての「ふろく」を表しており, 本文教材との代替性, 補充性を目的に使用するため, 配当時数には含めていない。